

## パナマ内政・外交（2019年1月定期報告）

### 【ポイント】

- 本年5月の大統領選挙に関し、当国選挙裁判所は、政党無所属大統領候補者3名を発表した。
- 当国外務省は、ベネズエラ情勢に関し、グアイド国会議長をベネズエラ暫定大統領に承認する旨表明した。
- 当地カトリック教会主催の「世界青年の日」が開催され、同イベント参加のためローマ法王及びラ米域内諸国の首脳がパナマを訪問した。

### 【本文】

#### ●内政

##### 1 バレーラ大統領の施政方針演説

(1) 2日、議会後期会期開会にあたり、バレーラ大統領は、政権発足後54ヶ月の成果及び残り任期の施政につき施政方針演説を行った。

(2) 演説において、同大統領は、2014年7月1日の政権発足以来、コロナ再生プロジェクト、希望の屋根計画、治安改善、奨学金の拡大、年金プログラム、バイリンガル教育、農産品の生産量拡大、公務員の給与引上、行政の地方分権化、基礎衛生の拡充、汚職対策及び海外投資の強化等に注力してきた旨述べた。

(3) 施政方針として、ミネラパナマ社による銅輸出及びチリキ県からのバナナ輸出等経済活動を活性化せると共に、メトロ3号線の建設に係る入札及び第四架橋の建設開始等インフラ事業を進展させると述べた。

##### 2 政党無所属大統領候補者の決定

28日、当国選挙裁判所は、同機関に提出された獲得署名数に基づき、3名の政党無所属での大統領候補者を決定したところ、概要以下のとおり。これにより、本年5月の全ての大統領候補者が出揃った。

- ・アナ・マティルデ・ゴメス議会議員（獲得署名数：13万1415）
- ・マルコ・アメグリオ元議会議長（11万5024）
- ・リカルド・ロンバナ弁護士（10万8492）

#### ●外交

##### 1 ベネズエラ情勢への対応

(1) 12日、当国外務省は、10日に発足したベネズエラのマドゥーロ新政権を非承認とし、ファン・グアイド国会議長と共に、新しい選挙の実施を求め

ていく旨のプレスリリースを発売した。

(2) 23日、当国外務省は、グアイド暫定大統領の就任を承認する旨のプレスリリースを発売した。

## 2 「世界青年の日」開催とローマ法王の当地訪問

(1) 22日から27日にかけて、当地カトリック教会主催の「世界青年の日」が開催され、当地報道によれば、24日正午の時点で、パナマ国外より156ヶ国61,119人が同イベント参加のためにパナマに入国した。

(2) 同イベント出席のため、フランシスコ・ローマ法王が、23日から27日にかけて当地を訪問し、バレーラ大統領と会談した。

(3) 同イベント開催に際し、ラ米域内からアルバラード・コスタリカ大統領、モラレス・グアテマラ大統領、サンチェス・エルサルバドル大統領、エルナンデス・ホンジュラス大統領及びドゥケ・コロンビア大統領が出席したのに加え、次回同イベント開催地であるポルトガルからラベロ・デ・ソーサ大統領が出席した。

## 3 「世界青年の日」マージンで実施された二国間首脳会談

(1) 26日、バレーラ大統領は、アルバラード・コスタリカ大統領と会談し、二国間で治安アジェンダの進展に向けた専門家間会合の実施について合意すると共に、貿易分野では、中国との関係が両国にもたらす機会及び両国国境までの鉄道建設の可能性について議論した。

(2) 26日、バレーラ大統領は、ラベロ・デ・ソーサ・ポルトガル大統領と会談し、貿易関係の強化と共に、財政分野における透明性及び国際協力の促進の重要性を確認した。

(3) 27日、バレーラ大統領は、ドゥケ・コロンビア大統領と会談し、二国間での治安アジェンダ及び公安部隊共同事業について取り上げた。また、域内問題に関しては、深刻化するベネズエラにおける政治、経済、社会及び人道的状況への懸念を共有し、新たな選挙の早期招集と民主的移行に向け、引き続き協働していく重要性について一致した。

(了)